

## 日本鉱物科学会 渡航支援制度 成果報告

2015年から年会で発表講演し、研究発表優秀賞を受賞した学生正会員に対し、海外の学会等で研究成果を発表する或は海外で調査・研究を行うことを支援するための奨励金を設けております。昨年2015年年会研究発表優秀賞受賞者のうち2名の受賞者が支援を受けましたので、以下に成果の報告をします。

### 京都大学大学院理学研究科 D3 伊神洋平（2015年年会研究発表優秀賞 受賞者）

1. 支援内容：ゴールドシュミット会議 2016 学会発表 参加費
2. 場所：パシフィコ横浜
3. 日程：2016年6月27日

内容詳細：

Mineralogy and Mineral Physics のセッションにて、Mullitization from sillimanite by synchrotron X-ray diffraction experiment and TEM observation というタイトルでポスター発表を行った。

地球化学系、国際学会への参加であったため、普段はあまり顔を合わせない研究者と交流することができた。2時間のポスター発表時間中、あまり途切れることなく様々な研究者が立ち寄ってくれ、説明・議論を行うことができた。さらに、発表時間以外にもポスターに関して議論する機会もあり、多くの大学・分野の研究者に自分の研究内容を伝えることができたように思う。また、自身の研究で透過型電子顕微鏡を用いていることもあり、透過型電子顕微鏡を用いている研究者が声をかけてくれることが多かった。同様の手法を用いていることで深く議論することのできる相手を増やすことができたように思う。もちろん、他の研究者の発表内容を聞いて、新たな知識やアイデアを得ることもできた。今回の経験を活かしてさらに研究を進めていきたい。

### 新潟大学自然科学研究科 D3 中村佳博（2015年年会研究発表優秀賞 受賞者）

1. 支援内容：AGU fall meeting 2015 学会発表 旅費
2. 場所：サンフランシスコ
3. 日程：2015年12月14日～18日

内容詳細：

2015年12月14～18日にアメリカ・サンフランシスコにて開催された国際学会”AGU fall meeting 2015”に参加しました。この国際学会では、自分の博士研究テーマである炭質物の結晶構造進化における反応速度論に関して研究成果をポスター発表しました。開催期間中にはモスコニーセンターにて地球物理学・地震学・地球化学などの多岐にわたる最新の研究成果を傍聴し非常に刺激的な1週間を過ごすことができました。特に自分の研究にも関連する炭質物研究が多く発表されており、様々な国の研究者と研究に関して議論することができました。博士課程2年の冬にこのような国際学会での発表機会と学会参加ができたことは、博士過程後の進路や研究方針を考える上で非常に重要な経験となりました。このような発表機会を支援していただいた日本鉱物科学会に感謝を申し上げるとともに、海外渡航支援制度に携わって頂きました多くに先生方と事務局の宮地様に厚く御礼申し上げます。